

あう
さまに
かみ

はなまきのかぐら

え・さく
もりかわ
さき



あう
さまに
かみ

はなまきのかぐら



え・さく
もりかわ
さき



むかし むかし ずっとむかしから

にほんには たくさんの かみさまが すんでいらっしやいます。

やまのかみさま



みずのかみさま



つきのかみさま



たいようのかみさま





にほんじんは かみさまと しぜんを
とてもたいせつにしてきました。



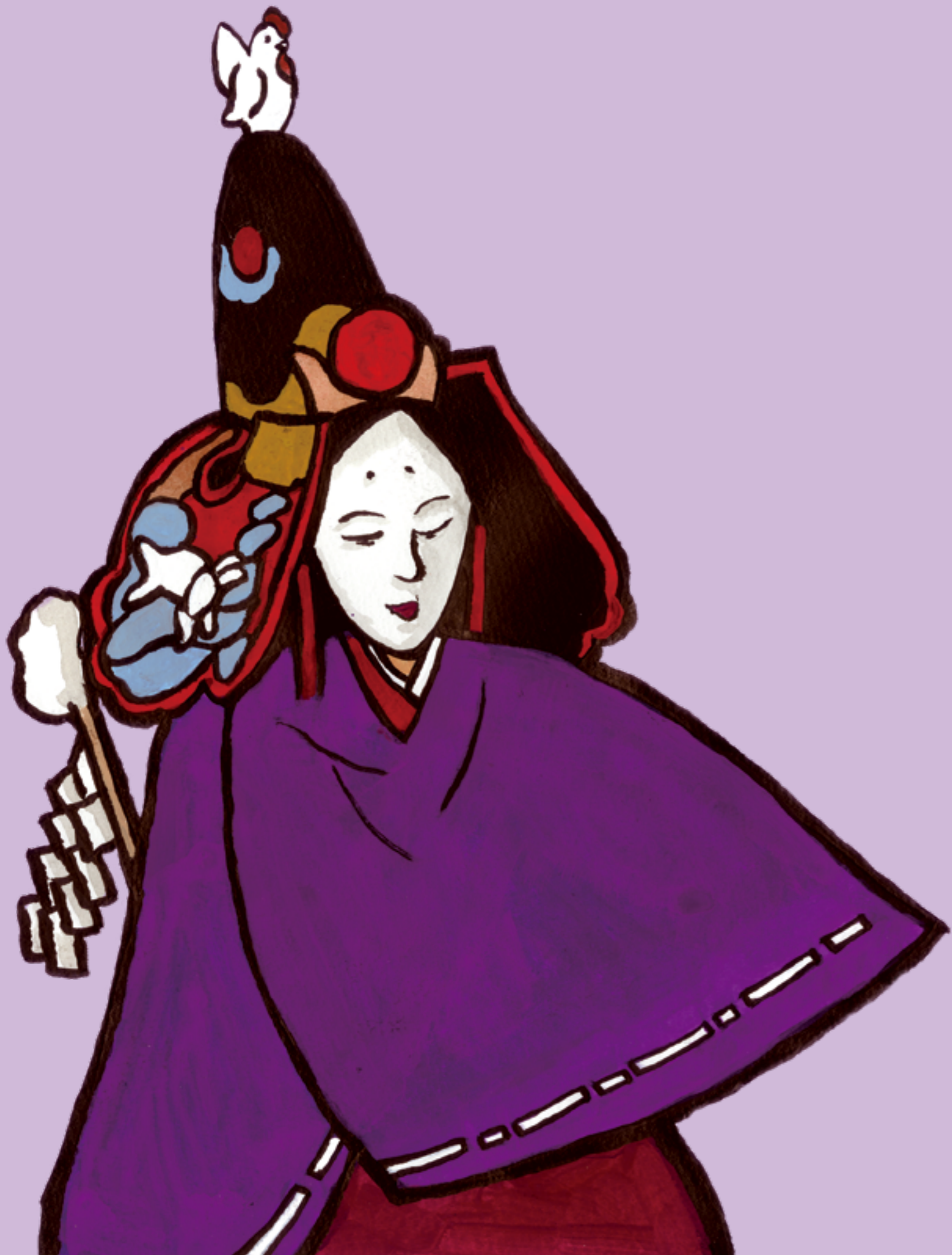
ここはいわてけんの はなまぎとらうところですよ。

みどりのたんぼ

すきとおったくうき

あたたかいおんせん

ふゆには ゆきがたくさんふります。



はなまきには

むかしから つたえられている まいがあります。

「かぐら」

それは かみさまのまいです。



ダンツク ダンツク ダンダン
あつ、かぐらがはじまるよ！

これは かぐらのぶたいです。

まず がつきをならして

かみさまをおよびします。

たいこ ダカダンダンダン

てびらがね シャンカシャンカ

ふえ ピーピュルリ





かぐらを まうひとは おめんをつけます。

おめんをつけると かみさまになります。

おめんをとると にんげんに もどります。



みなさんはどのおめんがすきですか。



きつねのおめん おにのおめん てんぐのおめん。



さあ、かぐらがはじまりました。

いちばんさいしよは「とりまい」。

おとこのかみさま イザナギと

おんなのかみさま イザナミのまいです。



にわとりのかぶとをかぶって まいます。



「さんばそう」。

くろいおめんの ヒルコというかみさまが
ピョンピョンとびはねる たのしい まいです。

「やまのかみまい」

やまをまもる オオヤマツミ。

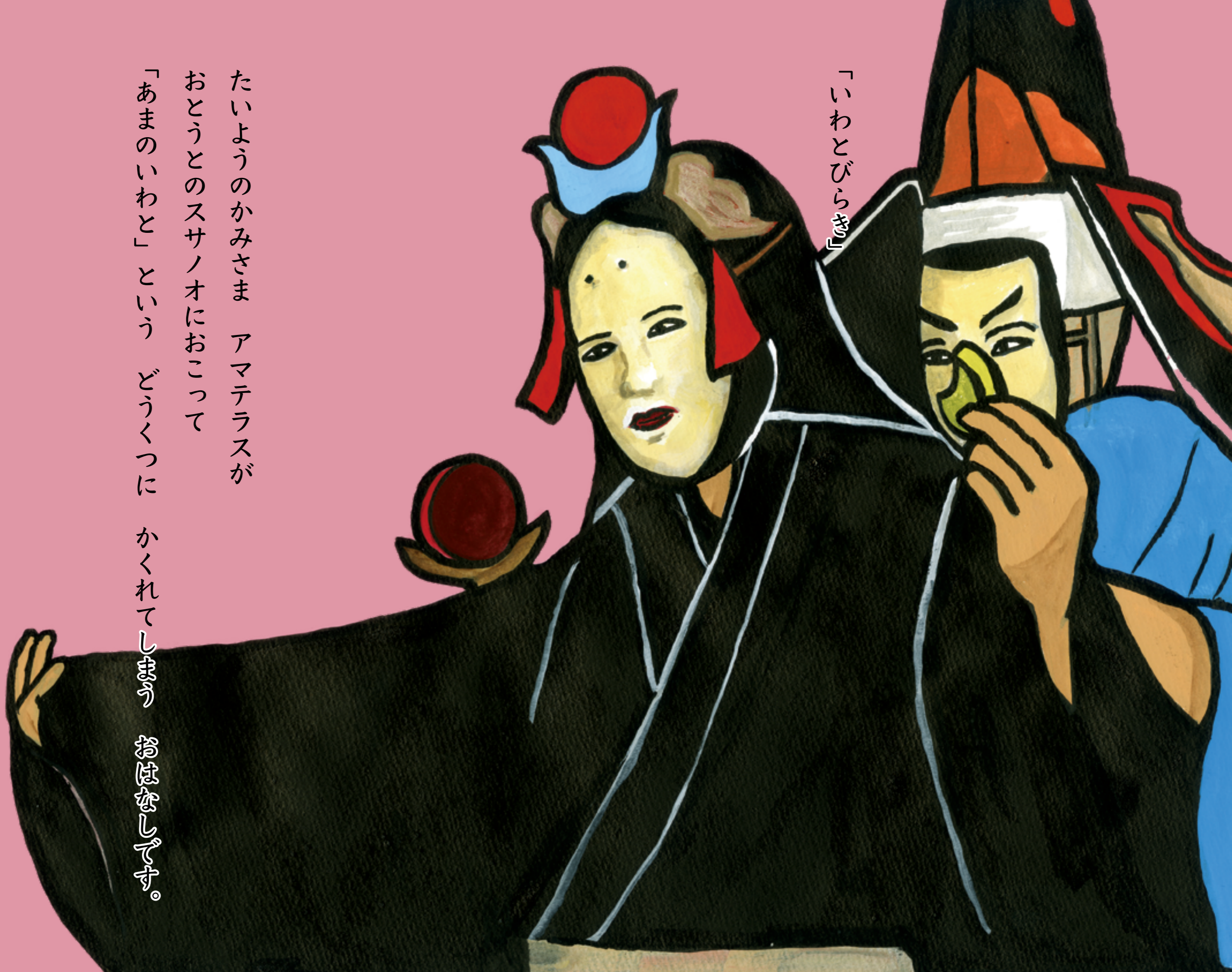
はるになると やまのしたにおりてきます。

おこめや やさいをつくるひとたち。

やましごとをするひとたちに

とてもたいせつなかみさまです。





「いわとびらぎ」

たいようのかみさま アマテラスが
おとうとのスサノオにおこって

「あまのいわと」という どうくつに かくれてしまっ
おはなしです。

さいごは「ごんげんまい」

カカツカカツカカツ

はをうちならして

あくまをおいはらいます。

ごんげんさまに あたまをかんでももらいましょ。

びょうきになりませんように。

いいことがおこりますように。



はなまきでは

いちねんじゅう いろいろなところで

かぐらを みることができます。

たいこやふえのおとをきくと

むねが わくわくします。

さあ みなさんも いっしょに
かぐらを みにいきましょう。



あとがき

花巻の神楽が大好きな息子たち。彼らがいなければ、この絵本は完成しませんでした。神楽を見ることは私たち親子にとって、日々の喜びであり、生きるエネルギーです。

未来を生きる子供たちにこの素晴らしい文化を知ってほしい、そのような思いでこの絵本は作られました。神楽団体の方々はじめ、神楽に関してお話をしてくださった皆様に厚く御礼を申し上げます。

二〇二四年三月

お世話になった方々、施設

阿部輝雄さん（大償神楽保存会長）、小国朋身さん（岳神楽保存会長）
浅沼利一郎さん（早池峰と賢治の展示館長）、柳田優子さん（大和坊おかみ）
伊藤金人さん（岳神楽）、中村良幸さん（花巻市博物館長）
大迫図書館、大迫郷土文化保存伝習館、花巻市総合文化財センター

参考文献

一ノ倉俊一ほか（2016）『早池峰神楽』郷土文化研究会
羽田澄子監督（1982）『早池峰の賦』自由工房

誰かに聴かせたい「花巻の音風景」



こちらのQRコードを読み取ると、早池峰神楽（岳神楽と大償神楽）の舞の音源を聞くことができます。

かみさまに あう ～はなまきのかぐら～

2024年3月15日発行

著者 森川 沙紀（花巻市地域おこし協力隊）

発行者 花巻市役所 定住推進課

〒025-8601 岩手県花巻市花城町9番30号

電話 (0198) 24-2111

印刷所 株式会社菊忠印刷

